



2026年3月25日

各位

会社名 株式会社 エプコ
 代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
 (コード番号 2311 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務執行役員 CFO 平川 智久
 (TEL. 03-6853-9165)

2026年2月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2026年2月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
 なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2026年2月度の月次業績（経常利益）

(単位：百万円)

	2月度			期初来累計		
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比
連結経常利益	-5	13	-	-25	56	-

(参考) セグメント別経常利益

成長事業	再エネサービス		-3	7	-	-18	27	-
	日本市場	TEPCO ホームテック	1	-0	-	1	9	864%
		ENE' s	6	9	142%	15	17	112%
	海外市場	LESSO EPCO	3	-2	-	-0	0	-
	その他		-15	0	-	-34	0	-
ベース事業	メンテナンスサービス		7	29	394%	20	73	357%
	設計サービス		32	22	70%	45	41	91%

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) 「その他」には、昨年まで業績が計上されていた MEDX および班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司（現：深圳聯塑艾博科工程設計有限公司）が含まれております。MEDX は 2025 年 3 月にて事業活動を終了し、班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司は持分売却により 2025 年 4 月度以降、当社の持分法適用関連会社から除外されております。

(注3) 連結経常利益数値には、セグメント別経常利益のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外損益（持分法投資損益を除く）が含まれております。

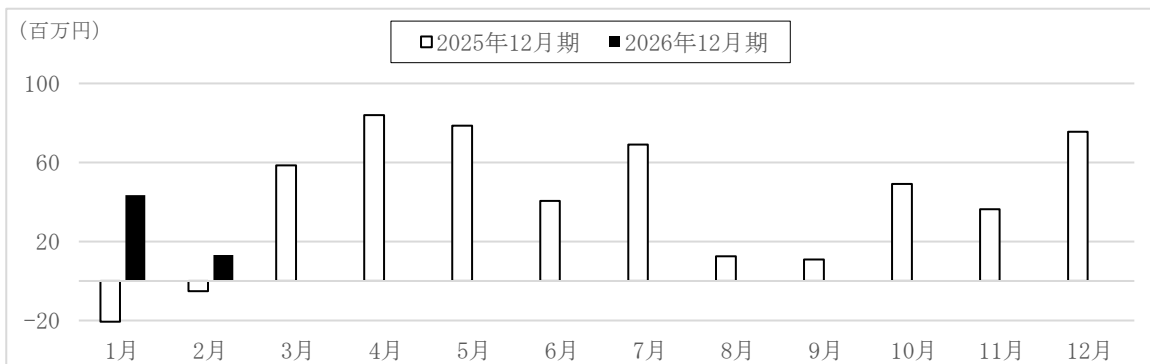
以上

■ (参考情報) 各事業の業績推移

【連結経常利益】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
経常利益	43	13											56
前年同月比	-	-											-

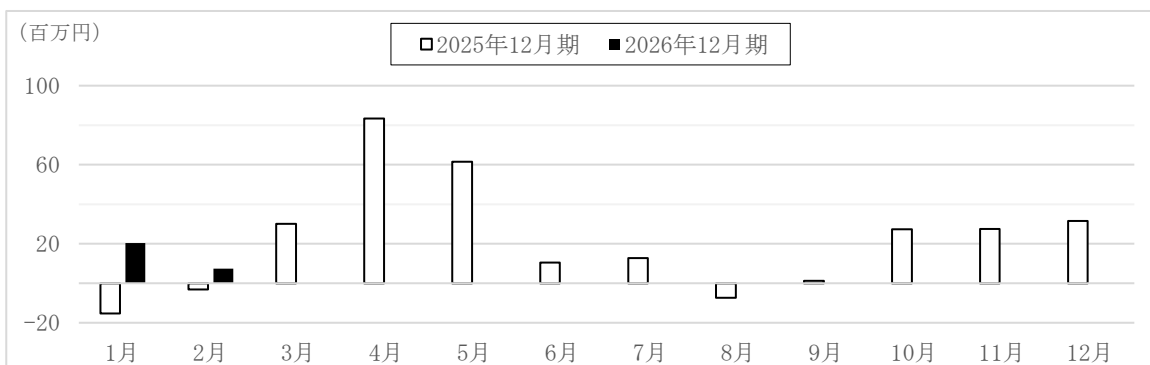


当月の連結経常利益は、13百万円（前年同月-5百万円）となりました。
設計サービスが減益となったものの、再エネサービス及びメンテナンスサービスが増益となったため、全体としては前年同月比増益となりました。

【再エネサービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
経常利益	20	7											27
前年同月比	-	-											-

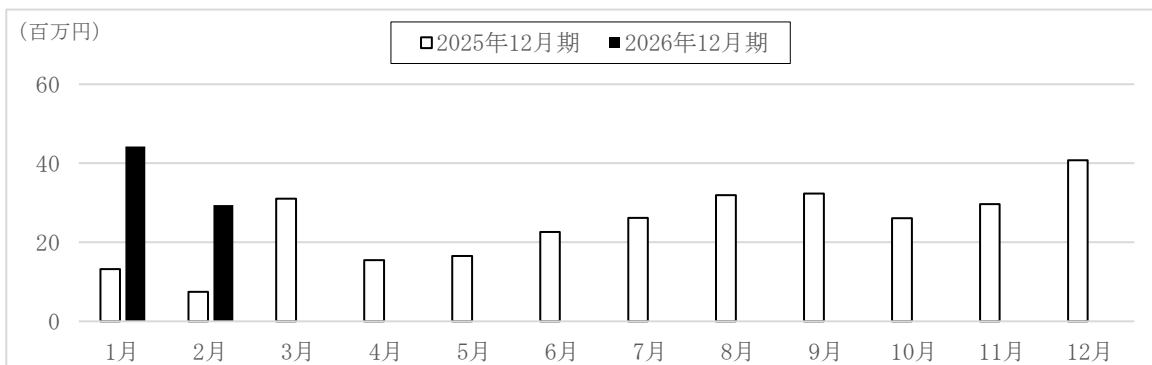


当月の再エネサービス経常利益は、7百万円（前年同月-3百万円）となりました。
ENE'sは、大手ハウスメーカー向けの売上が堅調に推移したことにより増益となりました。
TEPCOホームテックは、新築向けの売上が堅調である一方で、既築向けの売上が減少したことから減益となり、再エネサービス全体としては前年同月比で増益となりました。TEPCOホームテックに関する詳細については、P.4の記載内容をご参照下さい。

【メンテナンスサービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	44	29											73
前年同月比	335%	394%											357%

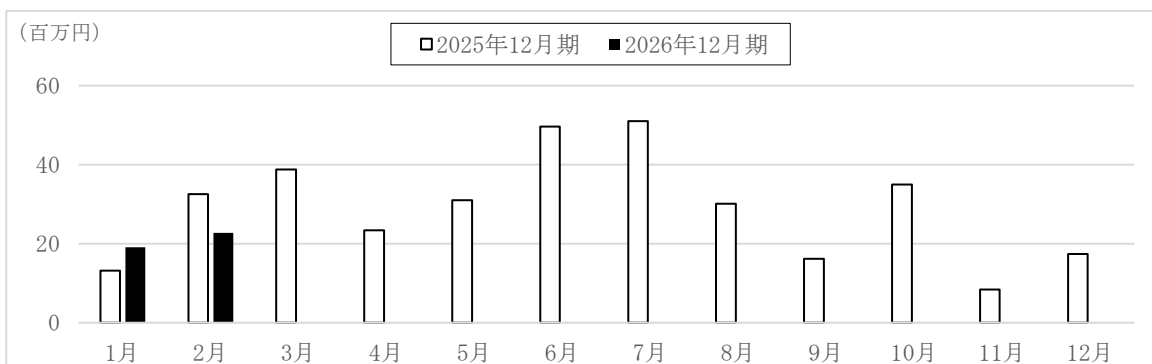


当月のメンテナンスサービス経常利益は、29百万円（前年同月比394%）となりました。増益の主たる要因は、住宅・エネルギー会社からの受託業務が増えたことにより売上が前年同月より増加したことによるものです。今後も既存・新規顧客からの新たな受託、主要取引先との価格改定の交渉を進め、利益拡大を図ってまいります。

【設計サービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	19	22											41
前年同月比	145%	70%											91%



当月の設計サービス経常利益は、22百万円（前年同月比70%）となりました。減益の主たる要因は、デジタル技術を活用した業務フロー変革により労働生産性の向上は着実に進んでいるものの、円安の進行に伴い中国拠点における費用が増加したことによるものです。なお、売上高については堅調に推移しております。

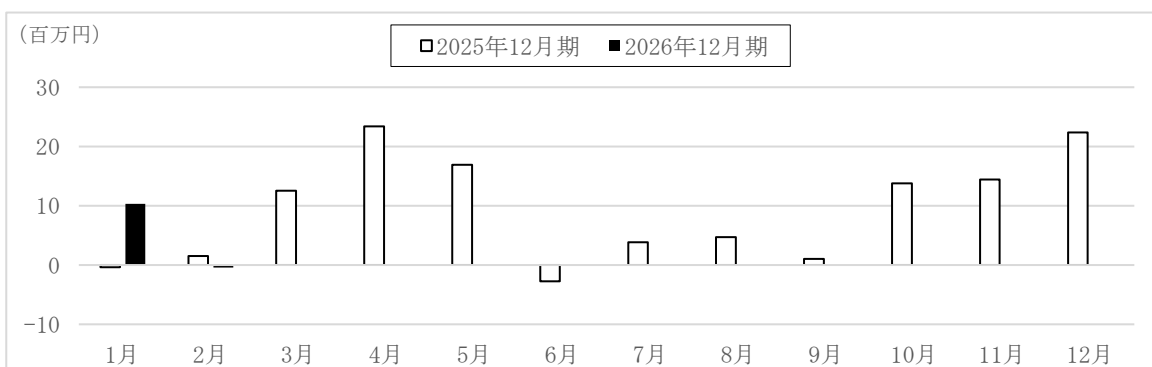
今後も、DXによる生産性向上に取り組むとともに、エネルギー関連設計業務やBIMサービスの新規受託によって、さらなる利益の拡大を図っていく方針です。

■ (参考情報) 主な関連会社の業績推移

【TEPCO ホームテック】(東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社)

(持分法投資損益、単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
持分法損益	10	-0											9
前年同月比	-	-											864%



当月の TEPCO ホームテックに関する経常利益（持分法投資損益）は、-0.4 百万円（前年同月 1 百万円）となりました。

新築向けの売上は東京都条例の対応需要を中心に堅調に推移する一方で、既築向けの売上は競争環境の影響を受け減少しました。これにより、当月の売上高は 723 百万円（前年同月比 93%）となり、前年同月比で減益となりました。

以上